

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 24, No. 4 神奈川県立生命の星・地球博物館 Dec. 2018



ホソスゲ

(カヤツリグサ科スゲ属)
Carex disperma Dewey

2016年6月
北海道厚岸郡厚岸町

かつやま てるお
勝山 輝男 (学芸員)

カヤツリグサ科スゲ属 *Carex* L. は世界に約2000種があり、日本には269種があるとされます(勝山, 2015)。私は当館の開館以来、スゲ属植物を研究し、日本産のものはすべて生育地を訪ね、生態写真を撮影し標本を収集してきました。2015年度冬の企画展「日本のスゲ 勢ぞろい」ではその成果として、日本に現存が確認された全種の標本を展示しました。一方、ホソスゲは北半球の亜寒帯に広く分布するスゲですが、日本では明治時代にユルバン・フォーリー(1847-1915)による北海道の厚岸と、

1954年の小山鐵夫による猿払の2記録があるのみで、生育が確認できない唯一の種でした。環境省のレッドデータブック(環境省編, 2015)でも絶滅(Ex)と判定されていました。企画展の翌夏、北海道でおよそ60年ぶりにホソスゲが再発見されました。2016年6月15日に現地を訪ね、その生態を撮影し、標本を作製しました。これで当館には日本産のスゲ属植物全種の標本がそろいました。生育地は厚岸町のアカエゾマツ林内で、明治時代にフォーリーが記録した場所からそれほど遠くない所でした。